

令和 7 年 9 月 第 1 5 0 回 内子町議会定例会
一般質問通告一覧表

議席番号 議員氏名	質問事項	質問の要旨	質問の 相 手
1 番 酒井 勝也	1. 令和 7 年度現在の DX 推進計画の進捗状況と今後の方針について	(1) 現時点の DX 推進計画、産官民学との連携や啓発、意識改革、庁内改革の今後の課題や方針はどのようなになっているか。	町 長
		(2) 職員のデジタルリテラシー向上について、具体的な研修内容や実施スケジュール、またデジタルデバイト対策などの施策を推進するための計画はされているか。	
		(3) デジタルを活用できる人づくりのためにも多様な人材の確保について、どのような人材像を想定し、どのような採用、連携手段を考えているか。	
	2. 役場内での生成 AI の利用状況と今後の利用方針	(1) 業務の効率化や時間短縮、職員の負担軽減においても大きな効果が生成 AI を利用することで期待されている。 現在、AI、特に ChatGPT 等の対話型 AI の利用実績や導入事例はあるか。	町 長
		(2) 今後の業務への AI 活用を視野に入れた方針、職員の研修や環境整備といった準備も含めて、町としてどのような考えを持っているか。	
	3. 公式 LINE の登録者数と今後の登録者拡充と利用方針	(1) 現在、内子町公式 LINE の登録者数と利用者数の拡充をしていくためどのような取り組みで進めるか。	町 長
		(2) 防災対応や生活利便性向上の観点から、公式 LINE の機能拡充で災害時に役立つ機能と合わせてデマンドバス、共助型ライドシェア等地域交通サービスに関する予約機能を公式 LINE に組込み、誰もが簡単に利用できる仕組みを整えることは可能か。	

4 番 城戸 司	1. 熱中症対策について	令和7年6月1日より改正労働安全衛生規則が施行され、事業者に対して職場での熱中症対策が義務化された。 8月5日には国内の最高気温の記録が更新された。	町 長
		(1)対象となる作業に従事する職員等には、どのような対策をしているか伺う。	
		(2)災害が発生した場合、時期によっては避難所での熱中症が心配される。想定などをし、備えているか伺う。	
		(3)教育現場において、屋外活動などで熱中症が心配されると思う。どのような対策をしているか伺う。	教育長
	2. 教育における体験格差について	(1)教育において体験は非常に重要である。町内においても地域により体験に差があると考えられるが、合同で実施するなど差をなくすことをしてはどうか伺う。	教育長
		(2)各年で差が出ないよう、天候などで実施できない場合でも中止ではなく延期とし、別日に実施することをしてはどうか伺う。	
1 2 番 下野 安彦	1. 参議院選挙の影響について	(1)衆議院に続き、自民、公明両与党は7月の参議院でも過半数を失いました。一方、消費税減税などを公約した国民民主党、参政党は大幅に議席を増やしました。国会は、連立与党で過半数に達せず、「ねじれ状態」により、与党側が野党とより深い協力関係を模索し、場合によっては連立政権の枠組みも変えることも安定した政権運営には欠かせない状況でもあります。 2万円の給付はどうなるのか、消費税減税の話も野党でバラバラであります。物価も高いままで、新米の価格も高いと言われ、ガソリン価格も高いままで、今後の生活がどうなるのか心配な町民も多いのではと思われます。	町 長

1 2 番 下野 安彦	1. 参議院選挙の影響について	税の問題は自治体の財源や町民の生活に大きく影響します。今後の政局がどう動くかにもよりますが、参議院選挙の結果を受け、町民の暮らしや、働き方、子育て環境にどう影響してくると思われますか。 (2)国から独立した地方自治体が自らの判断と責任で地域行政を行うのが地方自治ですが、国防・外交・年金・経済政策・通貨政策などは国が果たすべき政策であります。地方行政の長として、今後どのような国政を望まれますか。	町 長
	2. 恋愛観や結婚観について	(1) 18 歳～29 歳 (Z 世代) の恋愛観から結婚観についての民間会社の調査によると、恋人について「とても欲しい・できれば欲しい」と答えた人は 56.6%、「あまり欲しくない・全く欲しくない」と答えた人は 43.4%というアンケート調査を見ました。「将来結婚したいか」の質問に対しては、「絶対にしたい・できればしたい」が 55.8%、「できればしたくない・全くしたくない」が 44.2%という結果だったみたいです。「将来子どもを持ちたいか」という質問に対し、「絶対に持ちたい・できれば持ちたい」と答えた人が 48.8%に対し、「持つつもりはない・断固として持ちたくない」と答えた人が 51.2%だったということです。 結婚をすれば「配偶者控除」「医療費控除」「住宅ローン控除」等が受けられ、家族も増えて働く意欲もできて多くのメリットがあります。「結婚新生活支援事業費補助金」の制度や多くの子育て支援もされていますが、人口減少の歯止めには至っていません。スウェーデンで少子化対策の礎を築き、ノーベル賞を受賞した経済学者ミュルダールは「個人は国家への服従という	町 長

1 2 番 下野 安彦	2. 恋愛観や結婚観について	ことではなく、自分の幸福のために子どもを持つべきである」と言われ、『人口問題の危機』は、すべてのスウェーデン人が3人の子どもの持てるために必要な社会保障や雇用のあり方を示しベストセラーとなりました。子どもをもつことに伴う経済的・社会的困難をなくす社会改革も必要ですが、結婚し家庭を持つことのすばらしさや結婚に関する理解を深め結婚観の醸成を図る場も必要と思うが町長の考えはどうでしょうか。	町 長
		(2) 学校教育段階から、性や妊娠、命の尊さに関する正しい知識の啓発はどうされていますか。	教育長
6 番 久保 美博	1. 特定地域づくり事業協同組合制度について	(1) 内子町の人口は本年4月1日現在14,593人となっており、この10年で3,115人が減少し、人口減少率17.6%となっております。この人口減少に対する危機感は全国的問題で、国や県も同様に様々な対策を講じています。一方、人材確保問題も顕著にあらわれるようになってきており企業側は求人を出しても人が来ない事例など雇用確保問題も多く聞かれるようになってきています。今後、内子町の人口が減少すると予想される中で、人口減少に歯止めをかける起爆剤が必要と考えます。新たな施策に取り組む場合、厳しい財政状況ではありますが、新たな取り組みも必要と考えます。そこで、特定地域づくり事業協同組合制度の取り組みについて考えを伺います。	町 長
	2. 災害関連死を減らすために避難所運営で優先的に取り組むことについて	(1) 起こりうる南海トラフ巨大地震などでは多くの避難者が出る見込みであり、避難所環境が不十分な場合、災害関連死につながる可能性もあります。これらを考えると対応が急務と思いますが、その準備状況	町 長

6 番 久保 美博	2. 災害関連死を減らすために避難所運営で優先的に取り組むことについて	について伺います。 (2) 国が避難所の運営指針を改訂し、被災者の権利・保護をうたう国際基準を新たに採り入れ、一人当たり最低 3.5 平方メートルの専有スペースと、災害発生初期段階で 50 人につき 1 基のトイレを用意するように明記されたが、当町における対応について伺います。 (3) オストメイトとは、病気や事故などにより腹部にストーマ（人工肛門・人工膀胱など）を造設した方のことをいいます。災害時のトイレの備蓄は進んでいると思いますが、オストメイトの方は避難生活において不安を感じやすい状況にあります。そのため、避難所でのストーマの交換・処置を行うスペースなどオストメイト設備対応がどうなっているのか伺います。	町 長
2 番 松田 修	1. 内子町の資産の活用について	(1) 内子町が管理している資産の今後の活用について 廃園となった内子幼稚園の活用について、活用案として令和 7 年 4 月に「内子町防災センター」の設置が提案されているようですが、内子町として具体的な活用方針はできているのでしょうか。 (2) 愛媛ゴルフ倶楽部の横にある造成地について 以前、工場誘致案が出ていて中止になったようです。 私も別件の工場誘致場所として相談を受け、この造成地を紹介しました。しかし、地盤が軟弱なため基礎工事に相当な費用が掛かるため不向きとされました。 造成後数十年なんの利用もされていないようですが、造成された当時の目的と内子町として今後どのように活用される予定かを教えてください。	町 長

2 番 松田 修	2. 農林業について	(1) 生業としての林業について 内子町の大部分を占める森林ですが、手入れをしないと災害の原因になる可能性が高くなります。しかし、間伐作業が進まず多くの森林が災害の可能性を孕んでいるとも言えます。 手入れが進まない原因の一つとして、間伐作業が生業として割に合わない、言い換えるとお金にならないためと考えます。 以前は間伐材を販売することで収入を得ることができましたが、現在の間伐材の販売は、生業として得られる金額には程遠いものとなっています。 現在、森林組合が補助事業として間伐作業を行っています。森林組合が作業員を雇用し事業としてやっていけるのに個人ではやっていけないことに疑問を感じます。 町長の公約に「元気な農林業づくり」とありますが、生業としての林業の今後をどう考えていますか。	町 長
	3. 県道・町道の安全確保について	(1) 県道・町道の安全確保について 町内の県道・町道は樹木が茂ってトンネルのようになっているところが散見されます。大雨や強風時には倒木や樹木の枯れ枝が道路に落下して危険な状況です。また、電線や電話線にも架かり地震や台風などの災害でライフラインの寸断が危惧されます。 危険個所の調査や関係自治体、企業との連携はどうなっているのでしょうか。	町 長
	4. モバイル機器の使用環境の整備について	(1) モバイル機器の使用環境について 様々なモバイル機器が普及しています。多くの住民がタブレットや携帯電話を使用していますが、地域によっては使用できない屋内や場所があります。通信事業者への要請によってこれら電波環境の改善は	町 長

2 番 松田 修	4. モバイル機器の使用環境の整備について	できないでしょうか。	町 長
5 番 向井 一富	1. 第3期内子町総合計画概要について問う	(1) 基本目標Ⅱ生業づくりについて、産業、集落分野の取組状況を伺う。 ○地域おこし協力隊の延べ人数と、任期満了隊員の定住数を問う ○農地の荒廃も目につく、どれ位の農地面積が休耕廃作等、手つかずの状況になっているか把握できている範囲での現状を問う。 ○「計画策定の趣旨」の中で農村地域で日々営まれる農業や豊かな暮らしがつくる村並とあるが、その営みが崩壊しつつあり、合併して20年、150ある行政区の維持が厳しくなっている区もあるのではないかと考えるがその現状を問う。 ○担い手への農地集積が円滑に行えるよう地域計画の作成とあるがこれの内容と、いつまでに作るのかを問う。 ○企業誘致の取り組みの現状と実績を問う。	町 長
		(2) 基本項目Ⅰひとづくりにおける教育分野の取組について伺う。 ○ふるさと教育のさらなる充実の項で「総合文化・科学部」の創設とあるが具体的にどういう事が問う。 教育魅力化コーディネーターの役割を問う。	教育長
		(3) 基本項目Ⅲ魅力づくりにおける観光について伺う。 ○魅力づくりの項に観光客満足度調査/日本人24.0外国人43.0と記載されているがこの数字の意味を問う。 ○5ページの囲み枠の部分にマイナス要因に冬季の魅力やインバウンド対応の欠	町 長

5 番 向井 一富	1. 第 3 期内子町総合 計画概要について問 う	如とあるが小田深山のスキー場の年間を 通じての更なる積極的な有効活用をする べきと考えるがいかがか。	町 長
--------------	---------------------------------	--	-----